

都立大塚病院 尿路結石センターの開設

2015年8月

このたび都立大塚病院では、「尿路結石センター」を開設いたします。

日本国内の尿路結石症患者は年々増加しており、平成17年の全国調査では、生涯罹患率は男性で7人に1人、女性は15人に1人と報告されました。メタボリックシンドロームとの関連も指摘されており、今後も患者数は増え続けると予想されています。

都立大塚病院泌尿器科では、平成20年から内視鏡とレーザーによる結石破砕治療（TUL：経尿道的結石破砕術、PNL：経皮的結石破砕術）を開始し、現在では都内有数の治療件数を行い、診療圏外からも難治症例を受け入れるまでに成長してきました。さらに平成26年11月からは最新鋭の体外衝撃波破砕装置を導入し、ESWL：体外衝撃波結石破砕術も行えるようになり、すべての尿路結石治療が対応可能となりました。

「尿路結石センター」では、最新の尿路結石治療を提供するだけでなく、「発症の予防」「再発の予防」にも重点をおき、医師、管理栄養士、薬剤師、看護師といった多職種が協力して、「真の尿路結石マネジメント」を患者様に提供させていただくことを目的としています。

尿路結石破砕治療の3本柱

①ESWL（体外衝撃波結石破砕術）

体外から衝撃波エネルギーを当てて結石を小さく破砕し、結石を自然排泄させる治療です。一般的には麻酔を必要とせず、砂状になった結石は尿とともに体外に排泄されます。当院では、通常1泊2日の入院で治療を行います。

ESWLは、長径5mmから10mmくらいの大きさの結石を治療対象と考えています。痛みの強い場合や高度な水腎症などの場合は、4mm以下でも治療対象となる場合があります。結石の場所や固さによっては、内視鏡による破砕術が適切な場合もあります。



②TUL（経尿道的結石破砕術）

尿道から細い内視鏡を挿入して、腎臓や尿管にある結石を破砕する手術です。主にホルミウムやグレーザーを用いて結石を破砕し、細かく砕いた破砕片を回収してきます。手術室での麻酔が必要となりますが、ESWLに比べて、大きな結石に対しても確実な破砕効果が得られます。10mm以上の比較的大きな結石やESWLが難しい位置にある結石が治療対象となります。当院では、通常3泊4日程度の入院で治療を行います。

③PNL（経皮的結石破砕術）

腰から腎臓の中へ通じる筒（トラクト）を穿刺して、そこから内視鏡による破砕を行う手術です。TULに比べて、さらに大きな腎結石を効率的に破砕・回収することができます。

2cmを超える腎結石やサンゴ状結石と呼ばれる腎臓内を鑄形状に占拠する大きな腎結石が治療対象となります。複数回の手術が必要となることがありますので、通常1～2週間程度の入院となります。



受診方法は、通常の泌尿器科の外来予約枠・連携予約枠、尿路結石の専門外来枠、いずれの予約枠でもご利用いただけます。尿路結石症の患者さまがいましたら、ぜひ当センターにご相談ください。

発症予防・再発予防のための栄養指導

尿路結石は再発しやすい疾患です。原因として、体質的な要素もありますが、食生活の要素が大きいと言われています。最近ではメタボリックシンドロームとの関連が指摘されています。

当院では尿路結石症で受診された患者さんを対象に、管理栄養士による積極的な栄養指導をおこなっています。下記の「生活改善十か条」を参考にして食生活のバランスとリズムに注意して、発症予防・再発予防を心がけていただきます。

- 第一条 一日二リットルを目標に水分を補給しましょう
- 第二条 肉類を減らし、大豆製品や魚類でたんぱく質をとりましょう
- 第三条 脂肪のとり過ぎに注意しましょう
- 第四条 野菜や海藻類を毎食一皿以上とりましょう
- 第五条 糖分、塩分、プリン体のとり過ぎに注意しましょう
- 第六条 シュウ酸の多い食品はカルシウムと一緒にとりましょう
- 第七条 食事は朝・昼・夜と均等にとりましょう
- 第八条 夕食は就寝の四時間前までにすませましょう
- 第九条 アルコールは控えましょう
- 第十条 おくすりは医師の指示どおりに服用しましょう

